



特集 令和7年度 全国学力・学習状況調査

4月に、文部科学省により全国の小学6年生（義務教育学校6年生）と中学3年生（義務教育学校9年生）を対象に「令和7年度全国学力・学習状況調査」が実施されました。今年度は、国語・算数・数学・理科についての「教科に関する調査」と「質問紙調査」が行われました。理科の調査は3年に1回で、前回実施は令和4年度でした。

この調査における貝塚市の傾向や結果分析について、概要をお知らせします。詳しくは、市のホームページで公開しています。また、学校教育課及び貝塚市教育研究センターにてリーフレットの配布もしています。

貝塚市教育委員会は、この分析結果を学校や保護者、地域の方々と共有し、今後の本市の教育施策や学校の取組みに生かすことにより、本市の教育を一層充実させてまいります。

なお本調査により測定できる学力は特定の一部であり、学校における教育活動のひとつの側面を表すものです。

【教科に関する調査の結果と成果】

○平均正答率(%)

小学校	貝塚市	大阪府	全国
国語	63	65	66.8
算数	56	58	58
理科	52	55	57.1

中学校	貝塚市	大阪府	全国
国語	50	52	54.3
数学	43	47	48.3

中学校 理科	平均正答数	貝塚市	大阪府	全国
	平均IRTスコア	2.6	2.7	2.9
		468	487	503

平均正答率は、全国や大阪府に比べると低くなっていますが、小中学校ともに国語と算数・数学については、昨年に比べて全国との差が縮まりました。

理科については、中学校ではオンラインでの実施となり、出題形式などが前回実施とは異なるので単純比較はできませんが、前回と比べて、小中学校ともに全国との差が広がりました。

「自分の考えをまとめる」「工夫をして発表している」については肯定的な回答の割合が大阪府・全国を上回る

一方で、質問紙調査の「各教科などで学んだことを活かしながら自分の考えをまとめる活動を行っていましたか。」また、「工夫して発表していますか。」との問いに対して肯定的な回答をした割合は、いずれも全国や大阪府と比べて高くなっており、授業の中で自分の考えをまとめることに意識して取り組み、整理して資料や説明の構成を工夫して発表するという姿勢が定着しているといえます。

【児童・生徒質問紙調査の結果から】

「自分には良いところがあると思いますか。」の問いに、肯定的な回答が小・中学校ともに80%

市では、貝塚市教育大綱に掲げているように、貝塚市で学び育ったことを「誇」に思う子どもの育成をめざしています。その取組みの一つとして、自分の良いところを認めていけるような声かけを、日々の学校生活の中で行っています。「自分には良いところがあると思いますか。」という問いに対して、小中学校ともにおよそ80%の児童生徒が肯定的な回答をし、その割合は年々増加しています。このことは、日々の取組みの成果であると考えられます。

今後も非認知能力（数値では図ることのできない学びに向かう力、コミュニケーション能力など）の育成を意識し、指導を進めていきます。



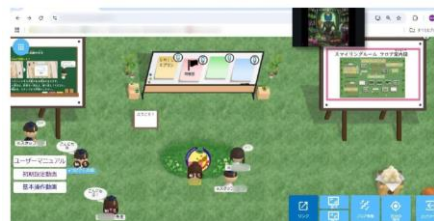
【今後に向けて】

今年度の成果として、児童生徒が自ら学び方を工夫し、課題に主体的に取り組む姿勢や、ICT機器を授業の中で日常的に活用する取組みが大きく前進しました。さらに、自分の考えを整理し、根拠を示しながら説明・発信する力も着実に高まっています。これらの力は、仲間との協働的な学びを通してさらに磨かれており、今後の教育の大きな基盤となるものです。

グローバル化や技術革新が加速する現代において、子どもたちが未来を切り拓くためには、実社会で生かせる知識・技能に加え、未知の課題に挑戦し克服する力が不可欠です。自己肯定感や自己有用感を伸ばし、一人ひとりの可能性を最大限に伸ばす教育を、学校・家庭・地域が一体となって推進し、子どもたちが自信を持って未来を創造できるよう取り組んでまいります。

かいづかSMILEプラン つげさんのまなびの森 スマイルーム 運用開始

9月17日から、不登校対策支援事業「かいづかSMILEプラン～すべての子どもたちの笑顔のために～」のひとつである、貝塚市教育メタバース「つげさんのまなびの森 スマイルーム」の運用を始めました。



つげさんのまなびの森スマイルーム



活動の充実 仕事体験

「つげさんのまなびの森 スマイルーム」は、市がオンライン上に構築した仮想空間です。その中で、子どもたちは自分のアバターを操作して授業を受けたり、自習したり、空間にいる子どもたちや指導者とおしゃべりしたりすることができます。

かいづかSMILEプランとして、この他にも不登校の子どもたちが通う教育支援センターや校内教育支援ルームでの活動の充実、アウトリーチ支援、遠隔操作ロボットORIHIMEの活用など、さまざまな新しい取り組みを始めています。今後もさらに充実させていく予定です。

貝塚学子ども講座 名探偵つげさんと挑んだ“つげ櫛の秘密”

9月20日、子どもたちは「名探偵」となって、貝塚の町に隠された謎に挑みました。貝塚市教育委員会主催の「貝塚学子ども講座」名探偵つげさん「つげ櫛に隠された秘密とは？君だけのつげ櫛を作ろう！」です。

スタートは教育研究センター。クイズラリーの用紙を手に、二色の浜公園を歩いて“つげ櫛発祥伝説”の残る八品神社へ。奉納された櫛を目にした子どもたちの瞳は輝き、境内のつげの木に触れながら「ここが始まりの場所なんだ！」と声を弾ませていました。

その後、教育研究センターで西出櫛工業の西出さんから「本物のつげ櫛づくり」を教わり、つげ櫛磨きに挑戦！子どもたちは夢中で、世界に一つだけの自分の櫛を完成させました。



「伝説を聞いて感動した。」「実際に体験できて宝物になった。」——そんな声に参加者から寄せられました。

これからも貝塚の魅力をたっぷり味わえる講座を企画していきます。

次の冒険に、ぜひご期待ください！



第23回ジョイントフェスティバル開催



8月30日に、コスモシアターにおいて、第23回ジョイントフェスティバルが開催されました。

昨年度は台風の為、急遽中止となったため、2年ぶりの開催となりました。

このフェスティバルは、市内中学校の文化部の合同発表会で、展示と舞台発表が行われました。

生徒たちは熱心に準備をして、活動の成果を披露しました。

教育に関する悩みの電話相談

【教育研究センター教育相談室】



コスモスダイヤル

フリーダイヤル

0120-222-674 ☎ 072-433-7110

月・水・木（祝日を除く） 9:15～16:45

学校生活で悩んでいることはありませんか？
 困っていることはありませんか？
 いじめや不登校などについて、子ども、保護者を問わず、誰でも相談できます。
 コスモスダイヤルに電話してね！



虐待やヤングケアラーなど
 子どもに関する相談全般
 貝塚市役所子ども部子ども相談課

平日 8:45～17:15

072-433-7022

虐待や子どもの福祉
 ヤングケアラーなどに関する相談
 児童相談所相談専用ダイヤル

年中無休 24時間対応

0120-189-783

いじめやその他子どものSOSに
 ついて、子どもや保護者の相談
 24時間子供SOS相談ダイヤル

年中無休 24時間対応

0120-0-78310